



有料会員損得判定!



よく話題になる中国の有料VIP会員、果たして本当にお得なのか!? 色々な角度から損得を判定してみます。

2大ネットショッピングVIP会員

淘宝88VIP



ココがスゴイ!

- ☑ 淘宝ヘビーユーザーのみが加入できる有料会員システム
- ☑ 会員は多くの商品が5%オフ、特別割引もあり
- ☑ 淘宝以外にもデリバリーアプリや動画アプリのVIP特典もゲット
- ☑ ネットセール時に超お得なクーポンが配布
- ☑ 最近、3タイプのVIP会員が選べるようになった

京東PLUS会員



ココがスゴイ!

- ☑ 1カ月の無料お試し期間がある
- ☑ 割引になった分だけ会員費を払う安心のシステムもあり
- ☑ 会員はすべての配送費が無料、多くの商品が5%オフ
- ☑ 動画アプリなどのサブスク+50元ぐらいでも加入できる
- ☑ 無料健康診断など、ユニークな特典もあり

特典比較表

淘宝88VIP

88元/168元

生活カード・買い物カード/全能カード

淘気値が1000以上

毎年最低888元分のクーポン配布。ほか買い物カードは毎日2元の割引券配布

「饿了么」「优酷」「网易云」「飞猪」「 Marriott」「酒店」「携程」ほか

※買い物カードは連携なし

京東PLUS会員

~149元、149元、198元ほか

京典カード/PLUS連盟カード

総合ポイントが90以上

ネットセール期間ほか、毎月8日に特別セールを開催

連盟カードごとに「bilibili」「爱奇艺」「携程」「喜馬拉雅」「芒果TV」「网易云」ほか

※京典カードは連携なし

年会費

会員タイプ

入会条件

会員クーポン

連携でVIPになるアプリ

マストの淘宝、じつこの京東

中国の2大ネットショッピングアプリである「淘宝」と「京東」。どちらのアプリにも有料VIPがあるが、その性質は全く異なるものだ。まず「淘宝」の88VIPは、アプリ内の買い物ポイントが年間1000ポイント貯まらないと入会資格が得られず、よく買い物をする人でないと入会が難しい。変わって京東は90ポイントで入会OK、初月無料お試し制度もあり、誰でも入会しやすい。

年間費は「淘宝」が88元、168元の2タイプ。「京東」は149元が基本タイプで、年間の割引金額が149元に満たない場合はその金額だけ払えるタイプや、別アプリとの抱き合わせタイプなど様々だ。さてどちらがお得か? の判定だが、「京東」は入会のハードルも低いため、まず安いタイプに入ってみて損得を検討するのがオススメ。「bilibili」など連盟アプリのサブスク加入を検討している場合、抱き合わせタイプを申し込むとお得感が強い。一方「淘宝」は、アプリ内の割引はもちろんだが、連盟アプリの割引が大きく、そのアプリを使っている場合はぜひ加入をオススメしたい。詳しく見ていこう。

連盟アプリに要注目

「淘宝」88VIP生活カードでは、デリバリーアプリ「饿了么」や音楽アプリ「网易云」でも同時にVIP会員になれる。「饿了么」では毎月5元割引カードが4枚もらえ、店舗によってはこれが6~10元割引にグレードアップできるため、かなりお得感が強い。同じく年会費88元の「買い物カード」はこれらのアプリVIPがなくなる代わりに、「淘宝」内で毎日2元の割引券がゲットできる。どちらに加入するかは自分の生活スタイルに合わせて検討してみよう。

会員制スーパーはどれがお得?

	年会費	会員の適用範囲	上海市内店舗数	宅配	お試し	家族会員	特徴
 COSTCO (開市客)	299元	世界中	2店舗 (浦東新区・閔行区)	なし	なし	あり	おいしく安いフードコートが人気。浙江省杭州市などでは配送サービスもスタートした
 Sam's CLUB (山姆会員商店)	260元/ 680元	世界中	6店舗 (浦東新区、青浦区、普陀区、宝山区、嘉定区)	あり	なし	あり	最短30分で届く配送が便利。680元の高級会員は購入額の2%が割引券となるサービスあり
 盒馬X	258元	中国国内	6店舗 (浦東新区、閔行区、普陀区、宝山区、長寧区)	あり	あり	なし	コストコやサムズより安い金額を保証。毎週1日、商品を12%オフで買える「会員の日」がある

品揃えや割引に注目

今や中国でもすっかりメジャーになった、会員制スーパー。年会費を払った会員だけが買い物を楽しめるこれらのスーパーでは、生鮮食品やオリジナルブランドの商品が特徴で買えるとして人気だ。上海ではアメリカのウォルマートが経営する「サムズクラブ」を皮切りに、日本でもおなじみ、ホールセールクラブの「コストコ」、中国ネットスーパー大手の「盒馬鮮生」などが進出してきた。この3ブランドは会員費だけを見るとさほど変わりがなく見えるが、どれに加入するのが一番お得か? 検討してみよう。

「サムズクラブ」と「コストコ」はどちらもアメリカ資本のスーパー。肉やパン、日用品が驚くほど安く、店舗ではアメリカンなフードコートが楽しめるのはどちらも共通している。ただ「サムズ」の方が最短30分という配達システムがあるため、使い勝手がいいだろう。一方「コストコ」は日本製の調味料や日用品など、日本人に使いやすい商品が多いので、もし家の近くにあるのならそちらを利用したい。「盒馬X」は、毎週指定日に商品が12%オフになるのが何よりの魅力だ。

さてここで注目したいのが「家族会員」の有無。「サムズ」「コストコ」は加入すると、もう1枚会員カードがもらえ、家族や友人と紐づけて使うことができる。つまり実質1人分2人が加入できることになり、この点では「盒馬X」よりお得感が強い。一方「盒馬X」の会員12%割引デーは「X」以外の「盒馬鮮生」店舗にも適用となるので、ホールセールは量が多くて使いつらい...という人にはオススメだ。

年会費はどれもほぼ同じ